



まだまだ、寒い日が続いていますが、春はそこまで来ています。今年は、思う存分お花見を楽しみたいと、誰もが感じていることでしょう。今年度のケア会議は、残すところあと1回。来年度こそ、皆さんと顔が見える形で開く方法を検討していければと思います。どうぞ、よろしくお願ひします。

## ★ケアマネを次々変更する利用者について検討

2月に検討した事例は、「自らケアマネを次々と変更する利用者の対応について」。サービスに不満があると、即、「ケアマネを変える」と、自ら他の事業所に電話して、ケアマネをたびたび変更しようとしています。ときには、「引っ越すために、サービスが不要になった」と虚偽の理由を述べたこともあります。

この人に対して、何が必要なのか。どうすれば安心してサービスが受けられるようになるのか。また、ケアマネの事業所として、何を共有しておけばいいのかを検討しました。

その結果、  
①独居であり、それなりにADLの低下

が認められるので、見守りも含めて、何らかの支援は必要。今後の不安を話すこともあるので、その不安を解消できるような話も必要である。

②ケアマネやヘルパーを軽視するような傾向がある。すぐにケアマネを変えろといった言動に対しては、関係を持った複数の事業所でケースを共有して、その都度対応できるようにしておくこと。また、民生委員、生活保護ケースワーカー、社協の地域ケアコーディネーターなども支援チームとして、ケースを共有し、必要時にケース検討できるようにする。

といった方針が打ち出されました。



## ＊＊1月の検討事例の経過報告＊＊

### ★「世帯それぞれに介入が必要なケース」

専門職が家族を支援して障害年金の受給資格を確認しました。残念ながら受給資格はないことが分かりました。世帯それぞれが今後どのような生活を送りたいか、専門職が意向をうかがいながら関係づくりを進めていきます。



検討事例  
募集中

困難事例でお悩みでしたら、一緒に事例検討しませんか？  
下記までご連絡よろしくお願ひいたします。